

使用説明書

基本編

▶ **KM-3650w**

目次

1 章 はじめに

	ページ
1.1 コピー禁止事項	1- 2
1.2 本機の特長	1- 3
1.3 仕様	1- 4
1.3.1 本体	1- 4
1.3.2 プリンタ機能	1- 5
1.3.3 スキャナー機能	1- 6
1.4 外観	1- 7
1.4.1 前側	1- 7
1.4.2 後側	1- 8
1.5 原稿の仕様	1- 9
1.6 用紙の仕様	1-12
1.6.1 使用できない用紙	1-12
1.6.2 用紙の保管について	1-13
1.6.3 使用環境に応じた処置	1-14

2 章 基本的な操作

	ページ
2.1 電源の入れかた	2- 2
2.2 電源の切りかた	2- 3
2.3 ロール紙の交換	2- 4
2.4 トナーカートリッジの交換	2- 9
2.5 手差しトレイへのカット紙のセット	2-13
2.6 基本的なコピーのしかた	2-14
2.7 スキャンまたはコピーの緊急停止	2-15
2.8 ロール紙の除湿（オプション）	2-16

3 章 困ったときは

	ページ
3.1 エラーメッセージ	3- 2
3.1.1 紙づまりが発生したとき	3- 2
3.1.1.1 「給紙デッキで紙が詰まりました 用紙を正しくセットし直してください」	3- 2

3. 1. 1. 2	「手差し給紙部に用紙が詰まりました 用紙を取り除いてください」	3- 5
3. 1. 1. 3	「中間部に用紙が詰まりました カバーを開けて取り除いてください」 ..	3- 6
3. 1. 1. 4	「排出部で用紙が詰まりました カバーを開けて取り除いてください」 ..	3- 8
3. 1. 1. 5	「原稿読み取り部に紙が詰まりました 原稿を取り除いてください」	3- 11
3. 1. 2	カバーが開いているとき	3- 12
3. 1. 2. 1	「カバーが開いています、閉じてください または、プリンタが 起動中です」	3- 12
3. 1. 2. 2	「給紙デッキが開いています 閉じてください」	3- 14
3. 1. 2. 3	「スキャナーカバーを閉じてください カバーを少し上に持ち上げて ロックを解除してから閉じます」	3- 15
3. 1. 3	その他のメッセージ	3- 16
3. 1. 3. 1	「給紙デッキに XX 幅の用紙を補給してください」	3- 16
3. 1. 3. 2	「手差しトレイを開き、用紙を入れてください」	3- 16
3. 1. 3. 3	「トナーが無くなりました 新しいカートリッジに交換してください」 ..	3- 17
3. 1. 3. 4	「ウォームスリープモード中です」	3- 17
3. 1. 3. 5	「節電モード中です」	3- 18
3. 2	サービスを必要とするエラーメッセージ	3- 19

4 章 日常のメンテナンス

	ページ
4. 1 清掃	4- 2
4. 1. 1 原稿読み取り部	4- 2
4. 1. 2 印刷部	4- 4
4. 1. 3 操作パネル	4- 6

1 章

はじめに

	ページ
1.1 コピー禁止事項	1- 2
1.2 本機の特長	1- 3
1.3 仕様	1- 4
1.3.1 本体	1- 4
1.3.2 プリンタ機能	1- 5
1.3.3 スキャナー機能	1- 6
1.4 外観	1- 7
1.4.1 前側	1- 7
1.4.2 後側	1- 8
1.5 原稿の仕様	1- 9
1.6 用紙の仕様	1-12
1.6.1 使用できない用紙	1-12
1.6.2 用紙の保管について	1-13
1.6.3 使用環境に応じた処置	1-14

1.1 コピー禁止事項

本製品を使って何をコピーしてもよいとは限りません。特に法律により、そのコピーを所有するだけでも罰せられることがありますので、次の点に充分ご注意ください。

法律で禁止されているものには

- ① 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券は、コピーすることを禁止されています。例えば、見本の印が押してあっても、コピーすることはできません。
- ② 外国において流通する紙幣、貨幣、証券類のコピーも禁止されています。
- ③ 政府の模造許可を取らない限り、未使用郵便切手、官製はがきの類は、コピーすることを禁止されています。
- ④ 政府発行の印紙、酒税法で規定されている証紙類のコピーもできません。

(関係法律)

- ・ 通貨及び証券模造取締法
- ・ 外国ニオイテ流通スル貨幣、紙幣、銀行券、証券、偽造変造及び模造ニ関スル法律
- ・ 郵便切手類模造等取締法
- ・ 印紙等模造取締法
- ・ 紙幣類似証券取締法

注意を要するものには

- ① 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券などは、事業会社が業務に供するための最低必要部数をコピーする以外は、政府の指導によって、注意を呼びかけられています。
- ② 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体の免許証許可証、身分証明証や通行券、食券などの切符類も勝手にコピーしないほうがよいと考えられます。

著作権にもご注意を

著作権の目的となっている書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画及び写真などの著作物は、個人的にまたは、家庭内その他、これに準ずる限られた範囲内で使用するためにコピーする以外は、禁じられています。

1.2 本機の特長

- (1) 本機はスキャナー・コピー・プリンタの機能を備えた複合機です。
- (2) 印刷速度は 60mm/秒です。
- (3) 最大印刷幅は 914mm、最小印刷幅は 279mm です。
最大印刷長さは 3600mm、最小印刷長さは 210mm です。
- (4) 解像度 600dpi の印字ヘッドおよび最適な画像処理システムにより、高品質な印刷を実現します。
- (5) 1 成分現像方式用トナーの採用によりさらに安定した印刷が可能です。
- (6) 独自の現像方式および 1 成分トナーにより、鮮明な線画やグレースケール、非常に安定した黒ベタのプリントが可能になりました。
また、廃トナーを発生させないのでトナーを 100%無駄なく使用できます。

1.3 仕様

1.3.1 本体

項目	仕様
名称	KM-3650w
形式	コンソール型
定格消費電力	1200W（スキャナー、コントローラユニット、全てのオプションを含む）
稼動音	待機時…最大 54db 印刷時…最大 60db 稼動時…最大 65db IS07779 に準拠
オゾン	最大 0.1ppm
本体寸法	幅 1525mm×奥行 746mm×高さ 1230mm （操作パネルを 45 度で装着時）
質量	約 210kg（Type B） 約 217kg（Type A）
設置環境	温度 10～32℃ 湿度 20～85%RH
インタフェース	ネットワークインタフェース（10BASE-T/100BASE-TX）
電源	AC100V、50/60Hz、15A

注意

仕様は性能改善のため予告なく変更することがあります。

1.3.2 プリンタ機能

項目	仕様
印刷方式	静電複写方式
感光体	OPC ドラム
印刷速度	60mm/秒
プリントヘッド	LED アレイ
解像度	600dpi×600dpi
印刷幅	最大…914mm 最小…297mm (ロール紙) …210mm (カット紙)
印刷長さ	最大 普通紙…3.6m (36 インチ幅の場合のみ) 3×各定形サイズ (36 インチ幅未満の場合) 第2 原図…2×各定形サイズ フィルム…1×各定形サイズ 最小…210mm
ウォームアップタイム	5 分以内 (温度 23℃、湿度 60%、定格電圧、普通紙使用時)
ファーストプリント タイム	24 秒 (タテ・等倍・給紙 1 使用時)
定着方式	熱ローラおよび加圧ローラ
現像方式	乾式非磁性 1 成分トナー
用紙種類	(推奨用紙) 普通紙…64～80g/m ² 第2 原図…GNT75 (75g/m ²) 給紙デッキ 1 のみ使用可 フィルム…エルマーEK300W 再生紙…スター再生紙 100 (64g/m ²)
消耗品	(トナーカートリッジ) トナーカートリッジは温度 0～35℃、湿度 10～85% の場所に保管してください。

参考

仕様は性能改善のため予告なく変更することがあります。

1.3.3 スキャナー機能

項目	仕様
読み取りセンサ	CIS 方式 (A4 幅 CIS×5 個)
光源	LED
読み取り速度	65mm/秒
原稿セット方法	読み取り面を上セット
読み取り開始位置	センター
読み取り幅	最大 914mm 最小 279mm
読み取り長さ	最大 3600mm 最小 210mm
マージン幅	上下左右各 3mm
光学解像度	600dpi
デジタル解像度	600、400、300、200、100dpi
原稿給紙方式	シート
原稿の厚さ	最大 0.60mm 最小 0.05mm

参考

仕様は性能改善のため予告なく変更することがあります。

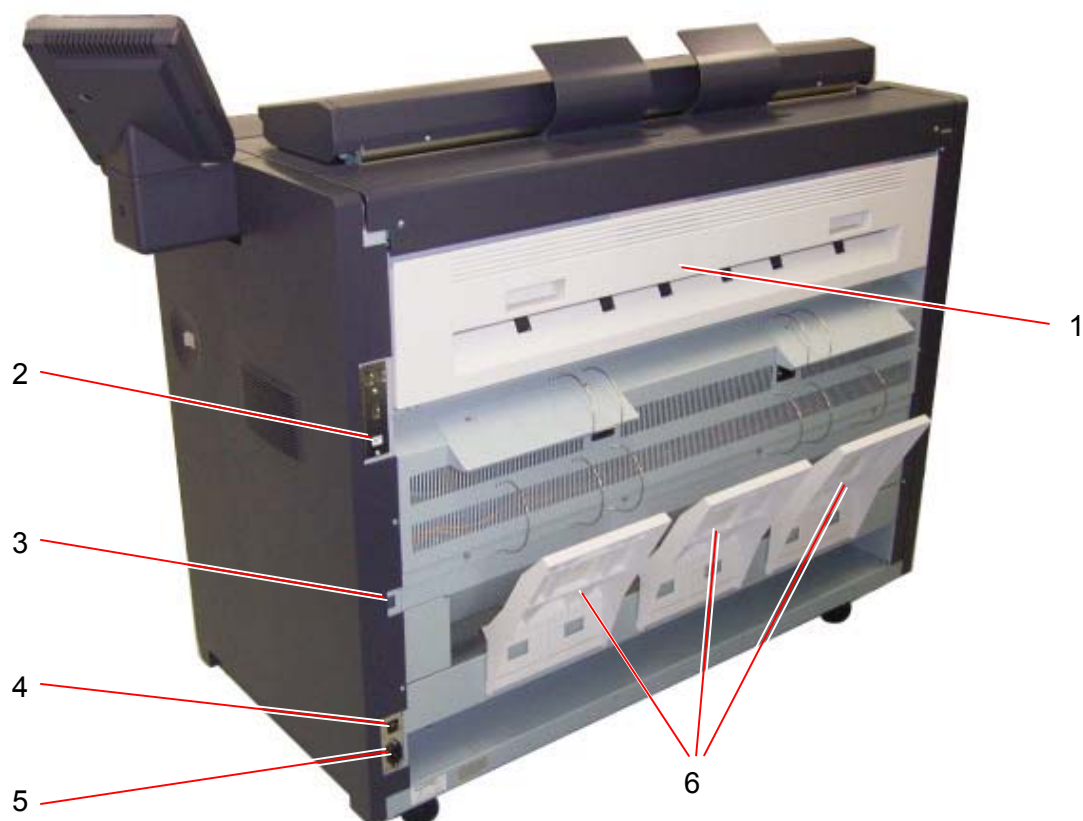
1.4 外観

1.4.1 前側



No.	名称	機能
1	メインスイッチ	本機の電源を ON/OFF します。
2	原稿ガイド	原稿を原稿読み取り部へ搬送します。
3	操作パネル	コピーまたはスキャン時に使用します。
4	緊急停止ボタン	コピーまたはスキャンを緊急停止します。
5	原稿トレイ	原稿読み取り部から原稿が排出されます。
6	原稿読み取り部	スキャンまたはコピー原稿の画像を読み取ります。
7	トナーハッチ (原稿テーブル)	トナーカートリッジを操作するときに開きます。 スキャンまたはコピー時は、ここに原稿を置くと原稿 読み取り部に搬送されます。
8	エンジンユニット解除レバー	エンジンユニットを開きます。
9	手差しトレイ	カット紙を給紙します。
10	給紙デッキ	ロール紙をセットします。 (Type B は 1 ロール、Type A は 2 ロールセットできま す)
11	排紙トレイ	排出口から印刷物が排紙されます。
12	カウンタ	総印刷枚数をカウントします。

1.4.2 後側



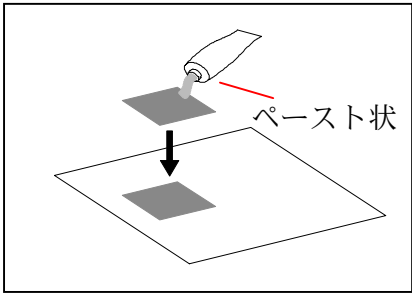
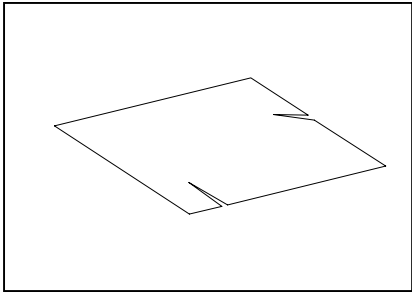
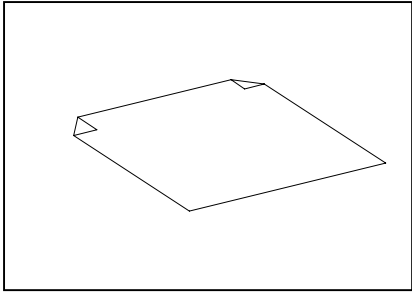
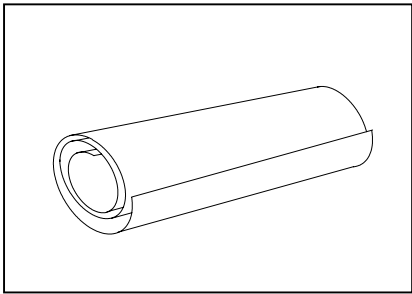
No.	名称	機能
1	排出カバー	紙づまりが発生したときに開けます。
2	LAN ポート	本機をネットワークに接続します。 (電話回線に接続しないでください)
3	除湿ヒータスイッチ (オプション)	除湿ヒータを ON にします。
4	ブレーカ	電気回路を遮断する安全装置です。
5	電源コネクタ	電源コードを接続します。
6	排紙トレイガイド	印刷された用紙を排紙トレイへ搬送します。

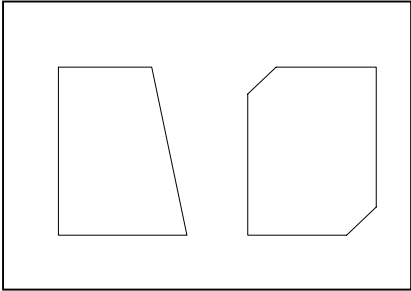
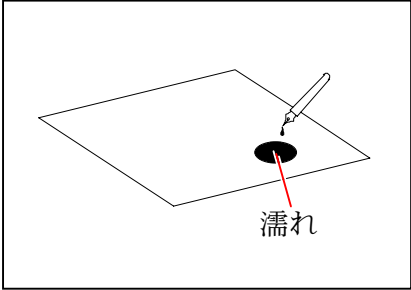
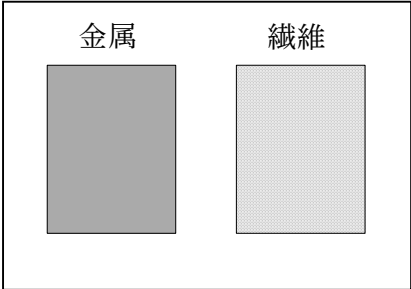
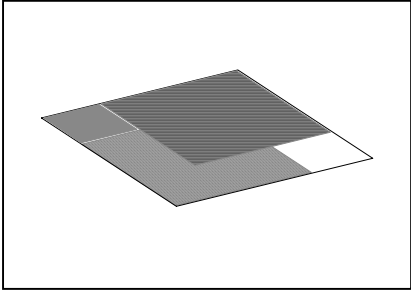
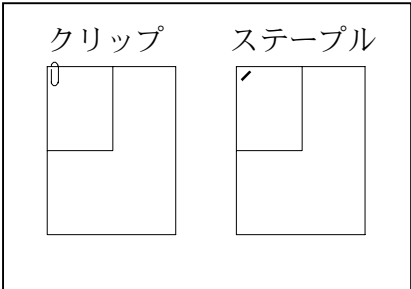
1.5 原稿の仕様

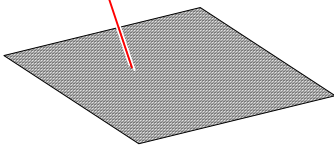
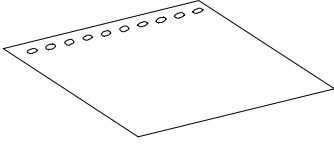
原稿は次の仕様を厳守してください。

厚さ	0.05～0.6mm
幅	279.4～914.4mm
長さ	210～3,600mm

原稿や原稿読み取り部を損傷するおそれがありますので、次のような原稿はスキャンしないでください。

ペースト状のものが付着した原稿	
破れている原稿	
先端が折れている原稿	
巻いてある原稿 (巻きの直径 50mm 以下)	

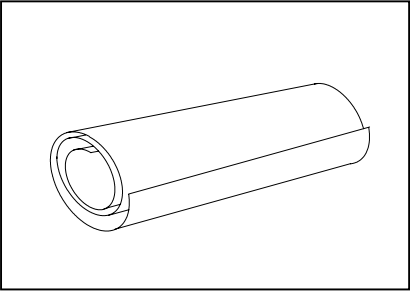
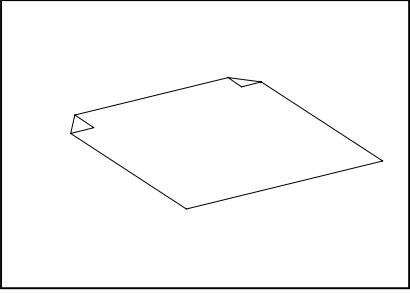
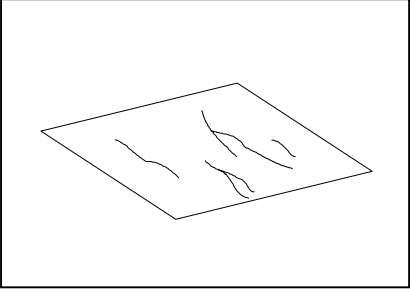
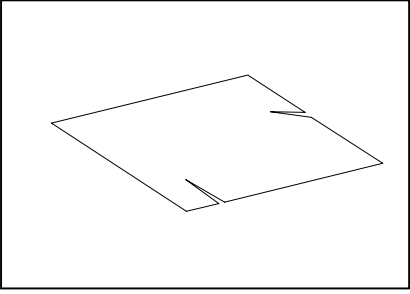
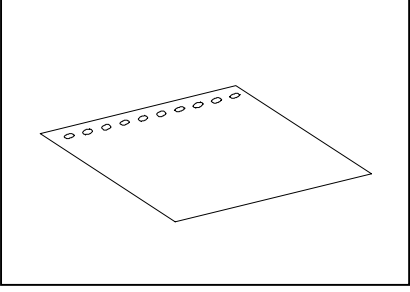
<p>方形でない原稿</p>	
<p>濡れている原稿</p>	
<p>金属または繊維</p>	
<p>つぎはぎの原稿</p>	
<p>クリップまたはステープルで止めた原稿</p>	

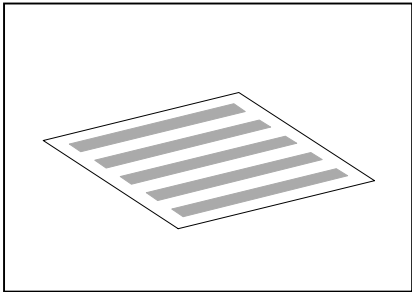
<p>表面の粗い原稿 (例：裏カーボン紙等)</p>	<div data-bbox="828 118 1241 409"> <p>表面が粗い</p>  </div>
<p>穴あきの原稿</p>	<div data-bbox="828 454 1241 745">  </div>

1.6 用紙の仕様

1.6.1 使用できない用紙

本機の印刷部を破損するおそれがありますので、次のような用紙は使用しないでください。

巻いてある用紙	
折れている用紙	
しわのよった用紙	
破れている用紙	
穴あきの用紙	

印刷された用紙	
すべりがよい用紙	
粘着力の強い用紙	
薄い・柔らかい用紙	
OHP フィルム	

危険

ステーブルで止めた用紙、アルミホイルやカーボン紙などの導電性のある用紙を使用しないでください。
火災のおそれがあります。

注意

- (1) 表面の粗い用紙を使用すると印刷がうすくなる場合があります。
- (2) 巻いてある用紙を使用すると印刷が欠ける場合があります。
- (3) 仕様を満たさない用紙を使用すると、紙づまり、印刷品質の低下、用紙のしわの原因となります。
- (4) 感熱紙、アート紙、アルミホイル、カーボン紙、導電性のある用紙など、表面が特殊な用紙は使用しないでください。
- (5) 長時間空気にさらされた第2原図を使用すると、印刷品質が低下する原因となります。
ロール紙の第2原図に印刷する場合は、印刷前に約1巻き分取り除くことをお勧めします。
2-7 ページの 2.3 ロール紙の交換の手順8 を参照してください。

1.6.2 用紙の保管について

用紙の保管は次の点に注意してください。

1. 直射日光の当たる場所に保管しないでください。
2. 70%以上の高湿度の場所に保管しないでください。
3. 水平な場所に保管してください。
4. 包装を外した用紙を保管する場合は、湿気を避けるためポリ袋に入れてください。

1.6.3 使用環境に応じた処置

使用環境に応じて、次の処置を行ってください。

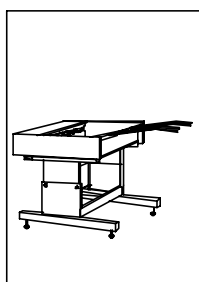
湿度 (%)	問題	処置
低 ↑ 40% 70% ↓ 高	普通紙または第2原図に印刷したときに、印刷の欠け、用紙のしわなどが発生する。	1. 加湿器を室内に設置し、加湿してください。 2. 印刷終了後ただちに本機から用紙を取り出し、ポリ袋に入れて保管してください。
	第2原図に印刷したときに、印刷の欠けが発生する。	すぐに印刷しない場合は、本機から第2原図を取り出し、ポリ袋に入れて保管してください。
		毎日印刷終了後に用紙を取り出し、ポリ袋に入れて保管してください。
	第2原図に印刷したときに、印刷の欠けが発生する。	すぐに印刷しない場合は、本機から第2原図を取り出し、ポリ袋に入れて保管してください。
	普通紙または第2原図に印刷したときに、印刷の欠け、用紙のしわなどが発生する。	1. 本体の除湿ヒータを ON にしてください。 2. 印刷終了後ただちに本機から用紙を取り出し、ポリ袋に入れて保管してください。

⚠ 注意

- (1) 除湿ヒータはオプションです。（別途お求めください）
 湿度が 65% 以上のときに ON にしてください。
 詳細は、2-18 ページの **2.8 ロール紙の除湿（オプション）** を参照してください。

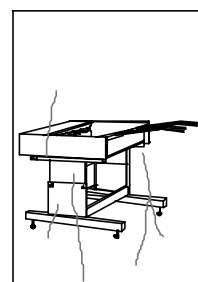
- (2) 印刷の欠け、用紙のしわは高湿度または低湿度の環境で起こりやすい問題です。

通常の印刷

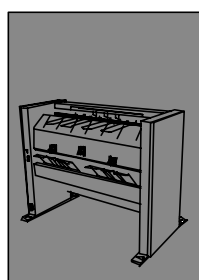


用紙が湿っている

用紙のしわ

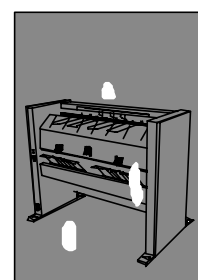


通常の印刷



用紙が湿っている

印刷の欠け



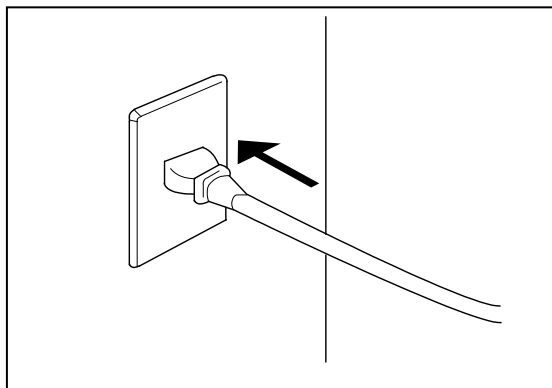
2 章

基本的な操作

	ページ
2.1 電源の入れかた	2- 2
2.2 電源の切りかた	2- 3
2.3 ロール紙の交換	2- 4
2.4 トナーカートリッジの交換	2- 9
2.5 手差しトレイへのカット紙のセット	2-13
2.6 基本的なコピーのしかた	2-14
2.7 スキャンまたはコピーの緊急停止	2-15
2.8 ロール紙の除湿（オプション）	2-16

2. 1 電源の入れかた

1. 電源プラグをコンセントに差し込んでください。



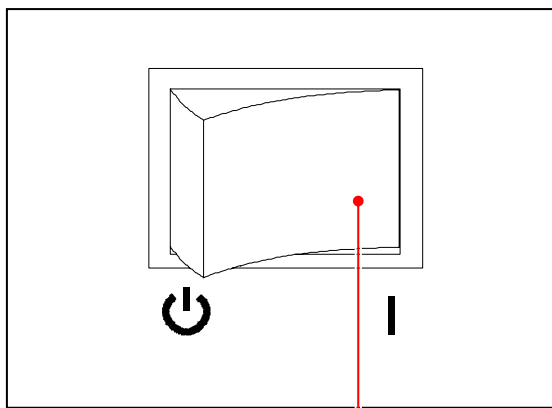
⚠ 警告

- (1) 濡れた手で電源プラグを触らないでください。感電のおそれがあります。
- (2) 必ずアース線をアース対象物に接続してください。
- (3) タコ足配線をしないでください。火災のおそれがあります。
- (4) 電源は下記を厳守してください。
AC100V+6%/-10%、50/60Hz、15A
- (5) アースは必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。又、アースを外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

2. 本体右側のメインスイッチを ON にしてください。



メインスイッチ



ここを押します。

3. ウォームアップが終了すると、操作パネルに「コピーできます」が表示されます。
スキャン・コピー・印刷が可能です。

⚠ 注意

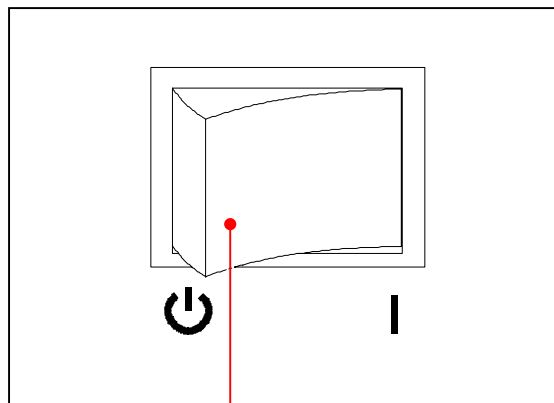
- ！ メインスイッチを ON にしたとき、また節電モードから復帰するときは、画面が表示されるのまでに約 1 分間かかります。
この間にメインスイッチを OFF にしないでください。

2.2 電源の切りかた

1. 本体右側のメインスイッチを OFF にしてください。



メインスイッチ



ここを押します。

注意

メインスイッチを OFF にしてから約 1 分間は、絶対に電源コードを抜かないでください。
メインスイッチを OFF にしてから、本体内部のコントローラユニットが完全にシャットダウンするまで約 1 分かかります。

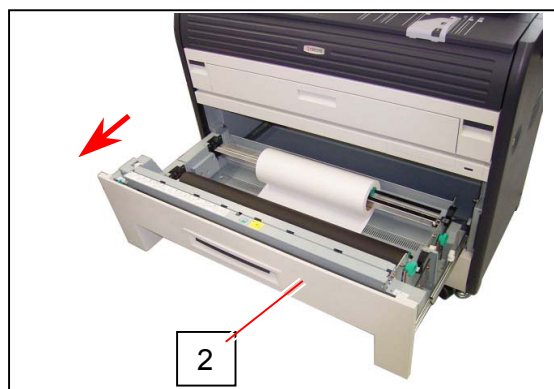
2.3 ロール紙の交換

写真は、Type A（ロールユニット 2 段）です。

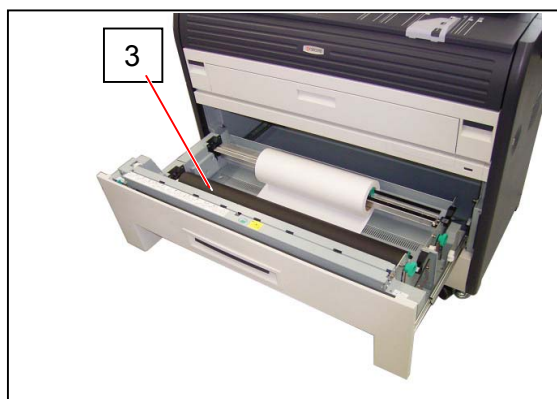
⚠ 参考

ロール紙がなくなるときに紙づまりが発生する場合があります。

1. レバー（1）を引き、給紙デッキ（2）を引き出してください。



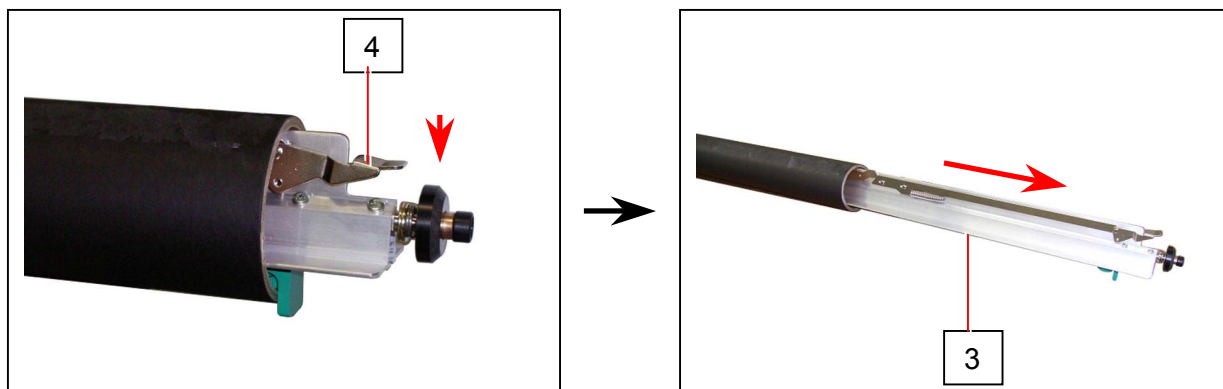
2. 給紙デッキからスプール組立（3）をロール紙の芯と一緒に取り外してください。



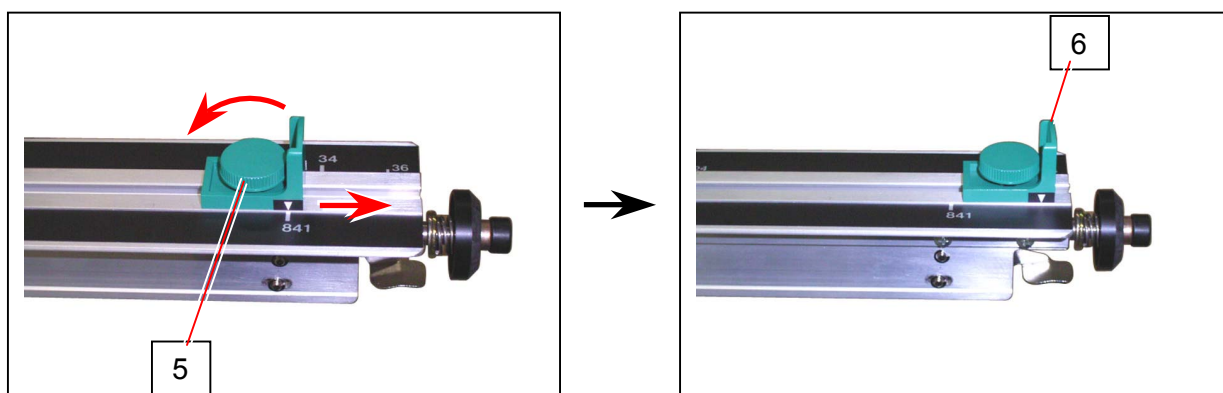
⚠ 注意

給紙デッキは、印刷が完全に終了してから引き出してください。
印刷中に給紙デッキを引き出すと、紙づまりの原因となります。

3. レバー (4) を下に押し、ロール紙の芯を外し、スプール組立 (3) を引き抜いてください。

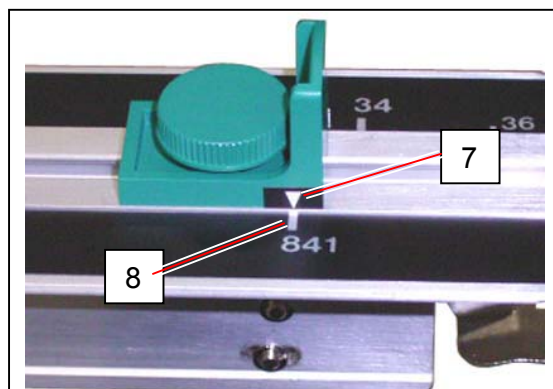


4. ノブ (5) を矢印方向に回し、用紙ガイド (6) をセットするロール紙の幅に合わせてスライドさせ、ノブ (5) を回して固定してください。

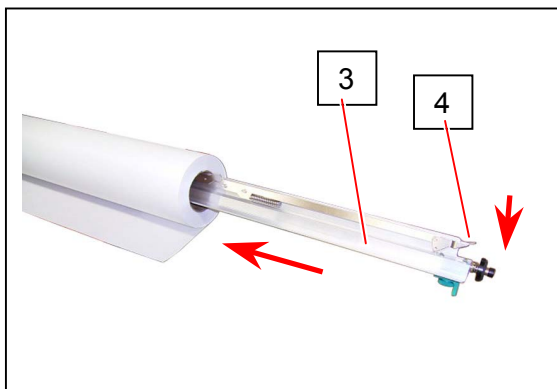


⚠ 注意

用紙ガイドの▽マーク (7) を用紙サイズガイド (8) に合わせてください。



5. レバー (4) を下に押しながら、スプール組立 (3) を新しいロール紙に挿入してください。

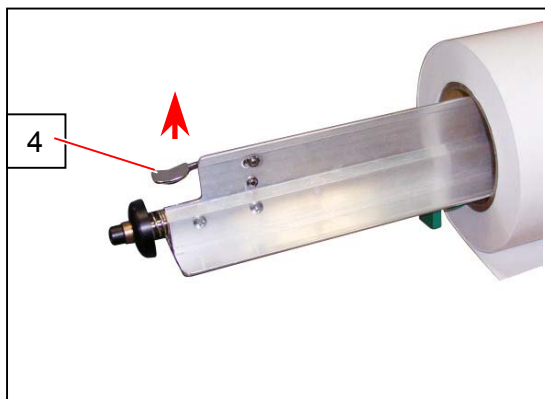


⚠ 注意

- (1) ロール紙の巻き方向に注意してください。
- (2) スプール組立 (3) をロール紙に挿入後、矢印のようにスプール組立を手で回し、ロール紙をしっかりと保持しているか確認してください。



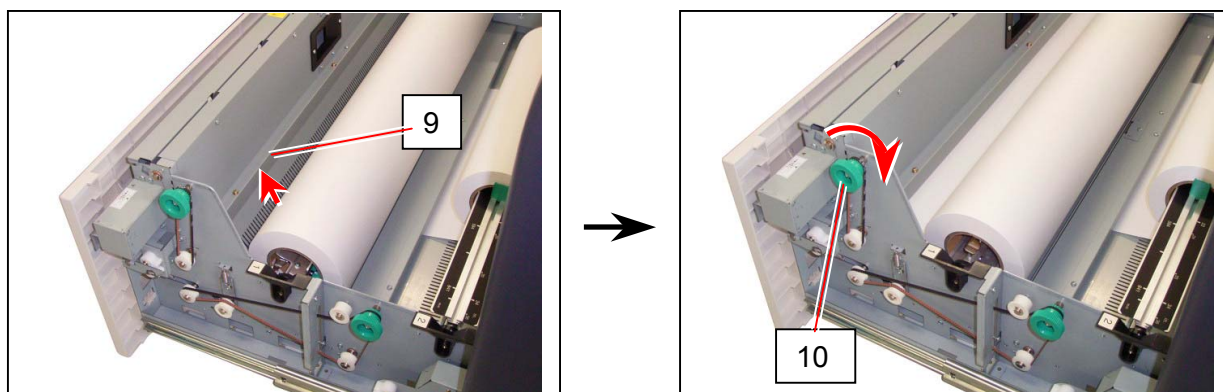
ロール紙がしっかりと保持されていない場合は、レバー (4) を矢印方向に手で押し上げてください。(これによりしっかりと保持されます)
ロール紙がしっかりと保持されていないと紙づまりの原因になります。



6. 給紙デッキに新しいロール紙をセットしたスプール組立 (3) を取り付けてください。

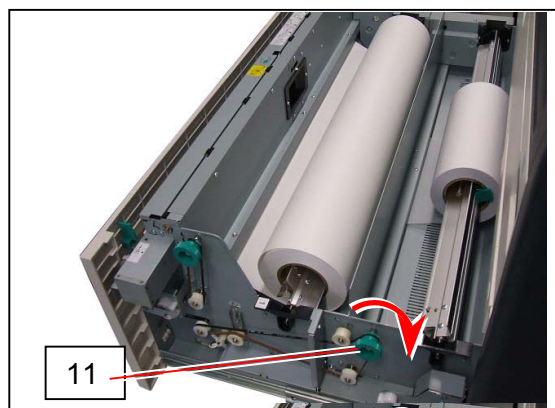


7. ロール紙の先端をガイド板 (9) の下から搬送ローラにあたるまで差し込み、搬送ノブ (10) を時計回りに回してロール紙を搬送ローラではさんでください。

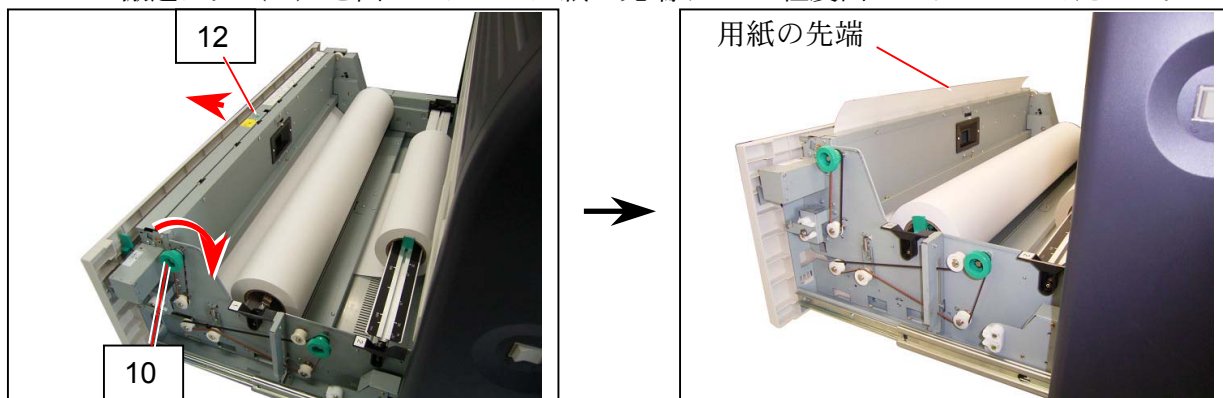


⚠ 注意

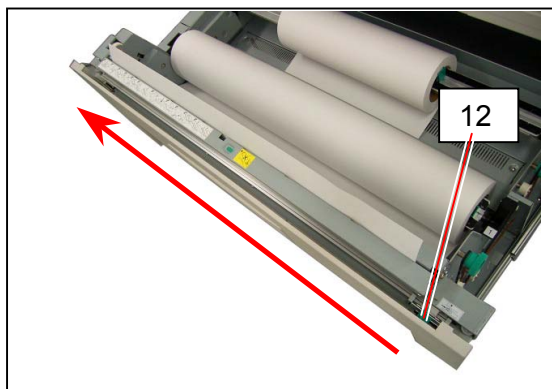
給紙デッキ 2 (Type A は標準) の場合は、後側の搬送ノブ (11) を回してください。



8. ロール紙の先端を搬送ローラではさんだら、ペーパーガイドの緑色のくぼみ部分 (12) を押さえながら矢印方向へ引いてペーパーガイドを開けてください。さらに搬送ノブ (10) を回して、ロール紙の先端が 10cm 程度出るようにしてください。



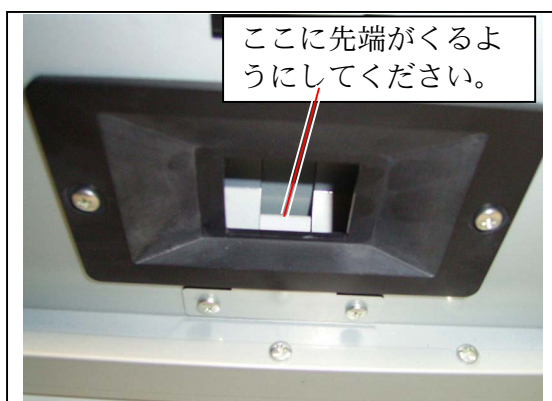
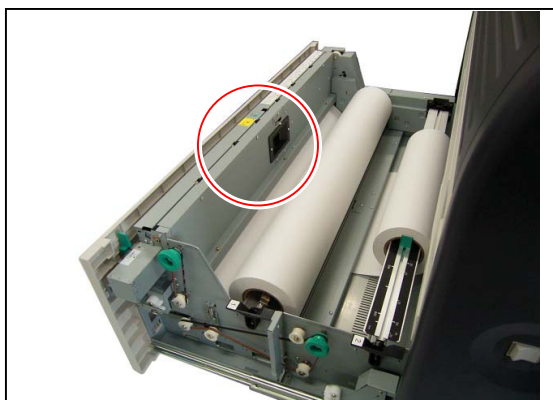
9. 緑色のカッターノブ（12）を右端から左端までスライドし、用紙の先端をカットしてください。カットした後の切れ端は取り除いてください。



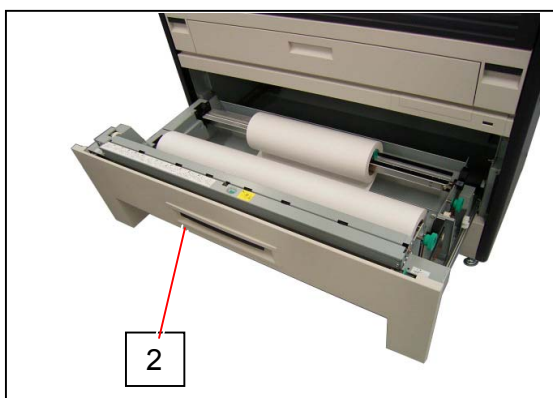
⚠ 注意

カッターノブは完全に止まるまで端にスライドさせてください。途中で止めると紙づまりの原因となります。

10. ロール紙の先端が図の位置になるように少し巻き戻してください。



11. 給紙デッキ（2）を閉めてください。

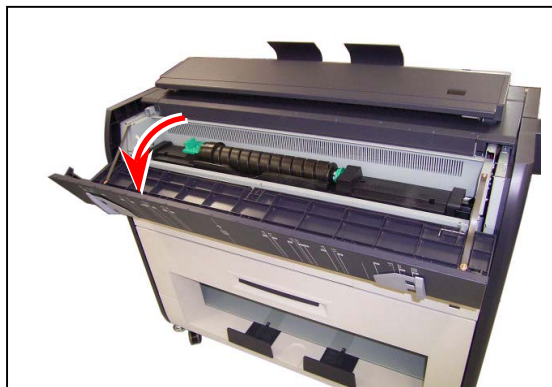


⚠ 注意

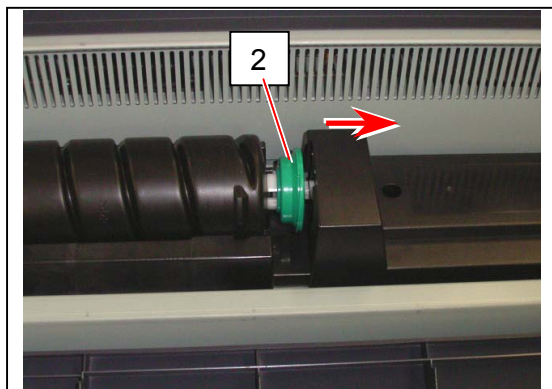
給紙デッキは正しい位置で確実にロックされるまで閉めてください。確実にロックされていないと、紙づまりの原因となります。

2.4 トナーカートリッジの交換

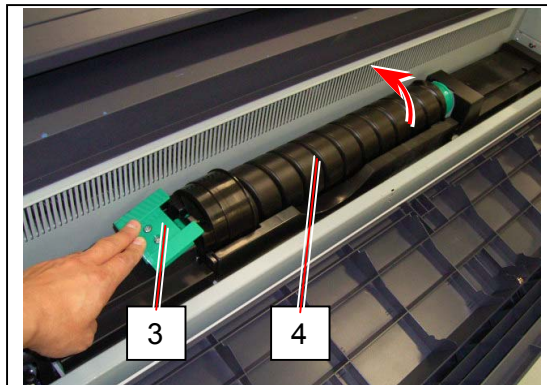
1. トナーハッチ（原稿テーブル）（1）を開けてください。



2. 緑色のレバー（2）を右方向へスライドしてトナーカートリッジのロックを解除してください。（レバー（2）はスライドした位置で自動的に固定されます）

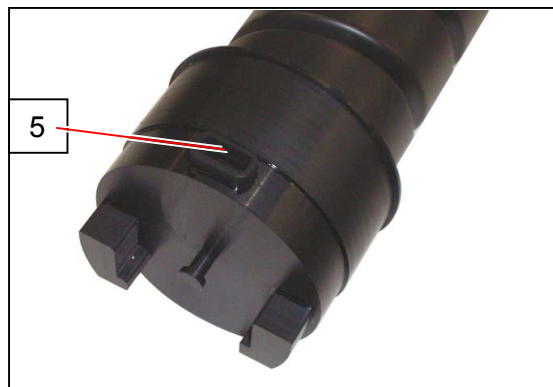


3. カートリッジロックレバー (3) を下に押しながら、トナーカートリッジ (4) を矢印方向に数回、止まるまで回してください。
(トナーカートリッジの補給口が閉まります)

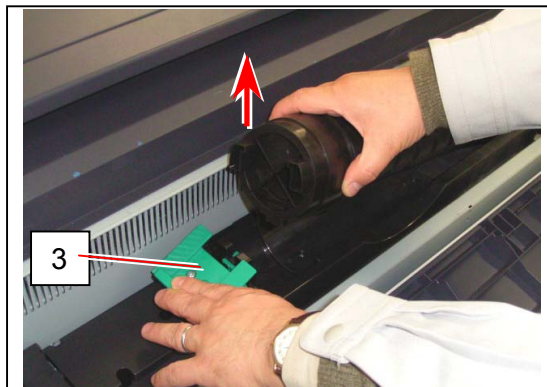


⚠ 注意

トナーカートリッジの補給口 (5) を閉めずにトナーカートリッジを取り外すと、補給口からトナーがこぼれ、本機または周囲を汚すことがあります。



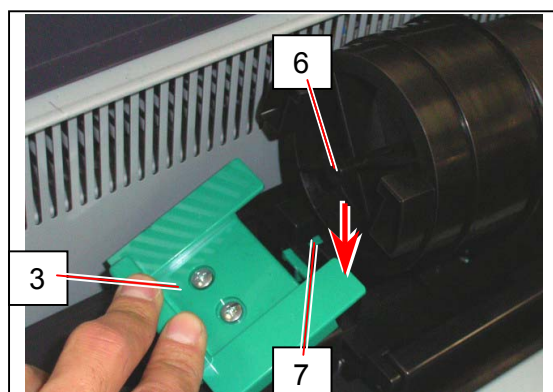
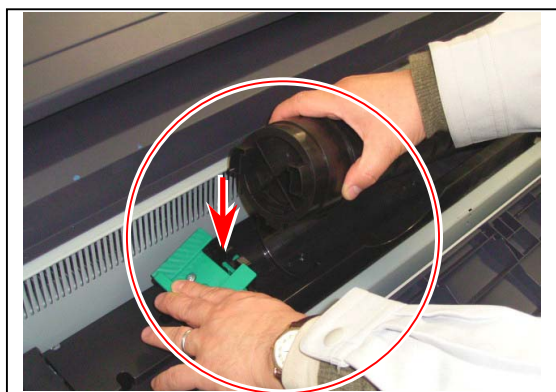
4. カートリッジロックレバー (3) を下に押しながら、トナーカートリッジの左側を持ち上げて、トナーカートリッジを取り外してください。



5. 新しいトナーカートリッジを左右に数回振ってトナーをよく混ぜてください。



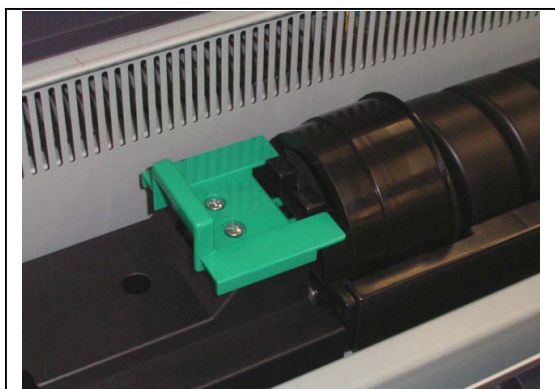
6. カートリッジロックレバー (3) を下に押しながら、トナーカートリッジ左側のピン (6) を本体の溝 (7) に合わせてください。



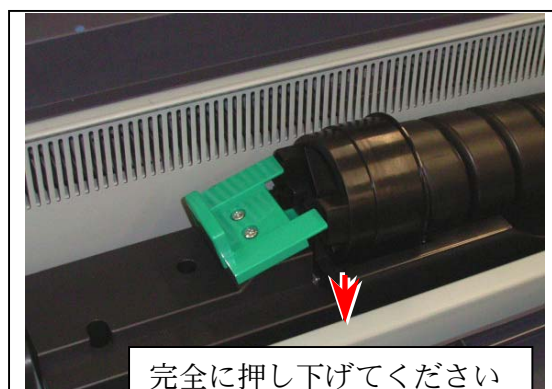
⚠ 注意

カートリッジロックレバー (3) がトナーカートリッジを確実に固定していることを確認してください。(カートリッジロックレバーは水平になります)

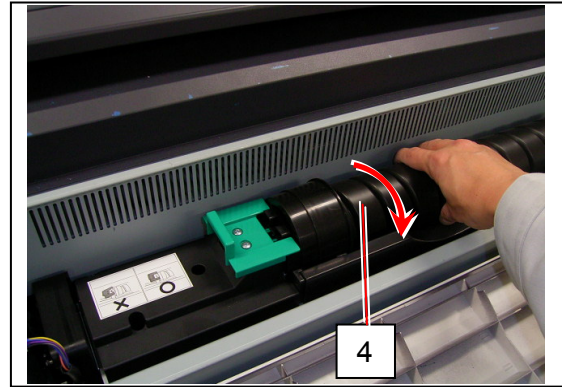
○



×

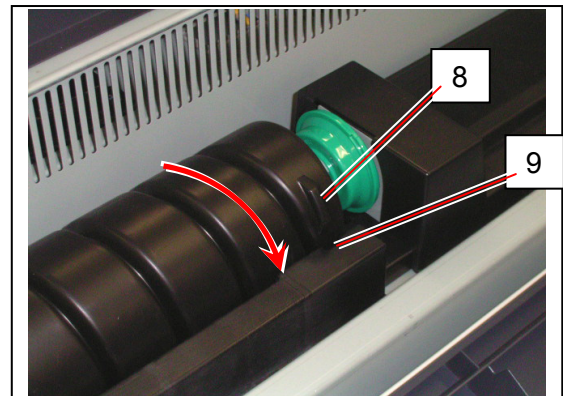


7. トナーカートリッジ (4) を矢印方向に数回、止まるまで回し、トナー補給口を開けてください。
(回転が重く感じられる場合がありますが、問題ありません)

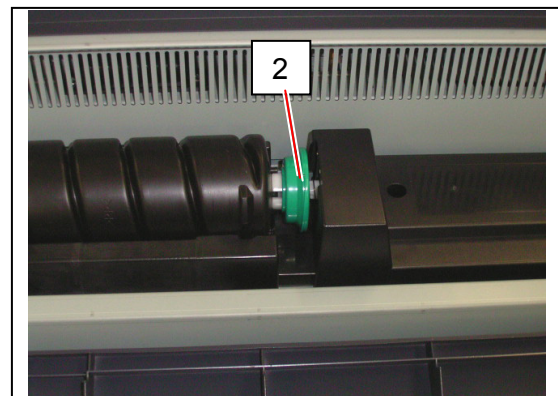


⚠ 注意

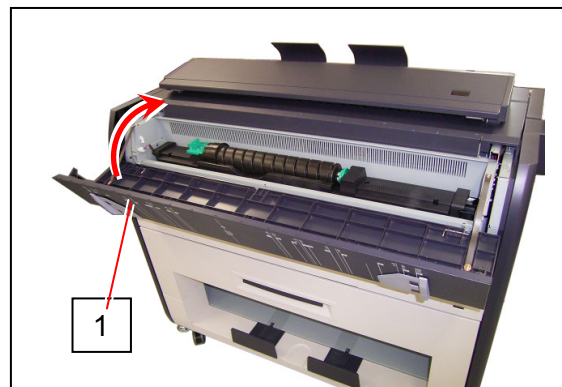
- (1) 突起部分 (8) が切り欠き (9) に合っていることを確認してください。



- (2) この時点では、レバー (2) がトナーカートリッジを固定していない場合がありますが、トナーハッチ (原稿テーブル) を閉めたときに回転し、自動的にトナーカートリッジを固定します。

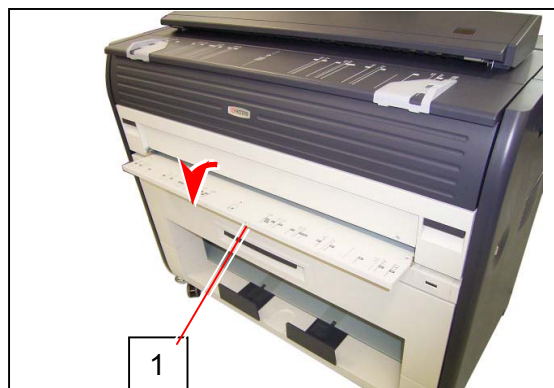


8. トナーハッチ (原稿テーブル) (1) を閉めてください。



2.5 手差しトレイへのカット紙のセット

1. 手差しトレイ (1) を開けます。



2. 印刷面を上にしたカット紙を用紙サイズのマークに合わせてテーブルに置き、手差しトレイに挿入します。
カット紙が給紙ローラにあたると、自動的に給紙されます。



2.6 基本的なコピーのしかた

1. 原稿ガイド (1) を原稿の幅に合わせてください。



2. 読み取る面を上にして、原稿を原稿テーブルに置いてください。
原稿ガイドに合わせて、原稿読み取り部に原稿を挿入してください。
原稿の先端が原稿給紙ローラにあたると、自動的に原稿を読み取ります。



原稿の読み取りが自動的に開始されます。

⚠ 注意

- (1) オートスタート機能が「オフ」になっている場合は、操作パネルの【スタート】キーを押してください。

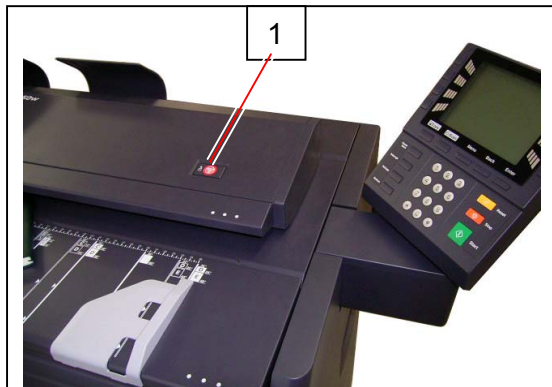


【スタート】キー

- (2) 特に上向きに巻きグセがついている原稿は、カールをよく伸ばしてからセットしてください。

2.7 スキャンまたはコピーの緊急停止

スキャンまたはコピー中に緊急停止する場合は、原稿読み取り部の緊急停止ボタン（1）を押してください。

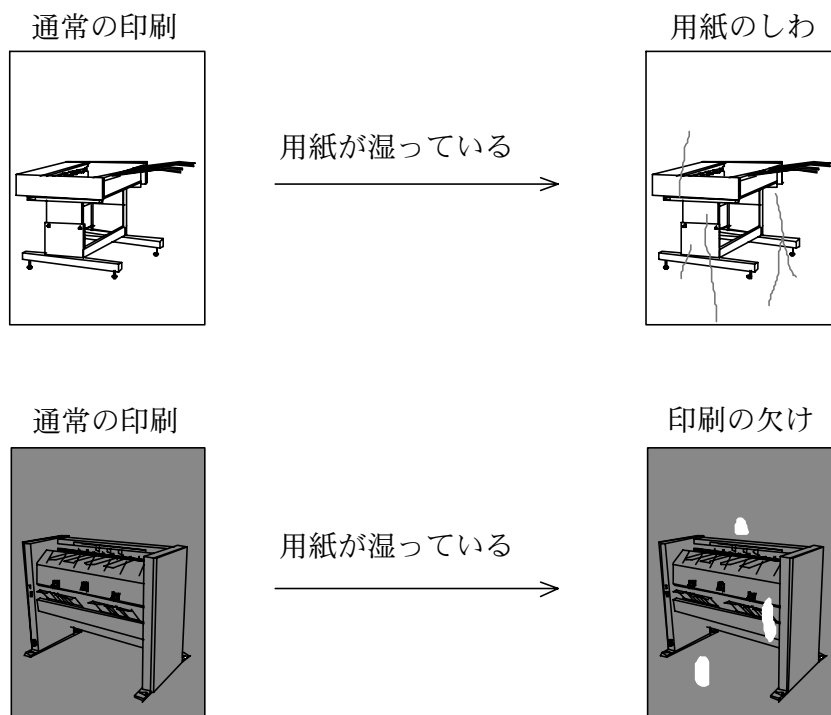


⚠ 注意

緊急停止ボタンを押した時点で原稿の読み取りは停止します。
同時に、印刷された用紙はカットされ、排紙されます。

2.8 ロール紙の除湿（オプション）

ロール紙が湿っていると、様々な印刷品質の低下が発生します。
主な印刷品質の低下は用紙のしわ、印刷の欠けです。

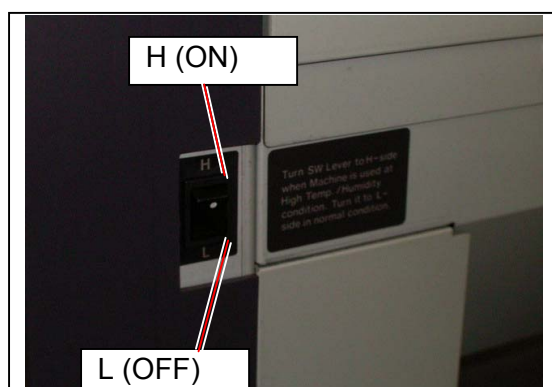


湿度が 65% 以上ある高湿環境の場合は、印刷品質の低下を避けるため除湿ヒータを ON にしてください。
用紙のしわ、印刷の欠けなどが解消されます。

！ 注意

除湿ヒータはオプションです。
必要に応じて別途購入し、本機に装着してください。
詳細は、弊社サービス担当者にお問い合わせください。

本体後側の除湿ヒータスイッチを H 側に押し、除湿ヒータを ON にしてください。（L 側を押すと、OFF になります）



除湿ヒータスイッチ

3 章

困ったときは

	ページ
3.1 エラーメッセージ	3- 2
3.1.1 紙づまりが発生したとき	3- 2
3.1.1.1 「給紙デッキで紙が詰まりました 用紙を正しくセットし直してくだ さい」	3- 2
3.1.1.2 「手差し給紙部に用紙が詰まりました 用紙を取り除いてください」	3- 5
3.1.1.3 「中間部に用紙が詰まりました カバーを開けて取り除いてください」 ..	3- 6
3.1.1.4 「排出部で用紙が詰まりました カバーを開けて取り除いてください」 ..	3- 8
3.1.1.5 「原稿読み取り部に紙が詰まりました 原稿を取り除いてください」	3- 11
3.1.2 カバーが開いているとき	3- 12
3.1.2.1 「カバーが開いています、閉じてください または、プリンタが 起動中です」	3- 12
3.1.2.2 「給紙デッキが開いています 閉じてください」	3- 14
3.1.2.3 「スキャナーカバーを閉じてください カバーを少し上に持ち上げて ロックを解除してから閉じます」	3- 15
3.1.3 その他のメッセージ	3- 16
3.1.3.1 「給紙デッキに XX 幅の用紙を補給してください」	3- 16
3.1.3.2 「手差しトレイを開き、用紙を入れてください」	3- 16
3.1.3.3 「トナーが無くなりました 新しいカートリッジに交換してください」 ..	3- 17
3.1.3.4 「ウォームスリープモード中です」	3- 17
3.1.3.5 「節電モード中です」	3- 18
3.2 サービスを必要とするエラーメッセージ	3- 19

3. 1 エラーメッセージ

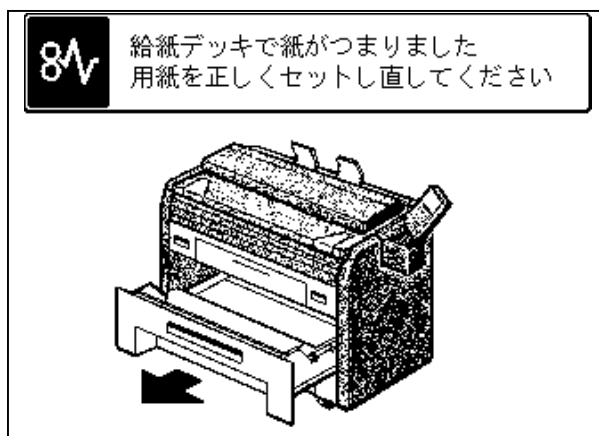
3. 1. 1 紙づまりが発生したとき

紙づまりが発生した場合は、次のメッセージが表示されます。

- ・ 「給紙デッキで紙がつまりました 用紙を正しくセットし直してください」
- ・ 「手差し給紙部に用紙がつまりました 用紙を取り除いてください」
- ・ 「中間部に用紙がつまりました カバーを開けて取り除いてください」
- ・ 「排出部で用紙がつまりました カバーを開けて取り除いてください」
- ・ 「原稿読み取り部に紙がつまりました 原稿を取り除いてください」

3. 1. 1. 1 「給紙デッキで紙がつまりました 用紙を正しくセットし直してください」

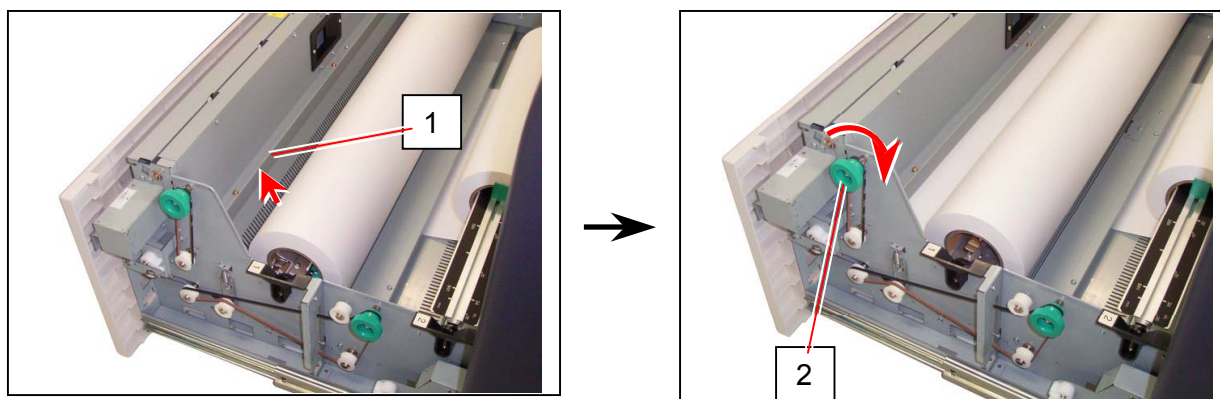
給紙デッキ内部でロール紙がつまった場合は「給紙デッキで紙がつまりました」が表示されます。



1. 給紙デッキを開けて、ロール紙を矢印方向に巻き戻してください。

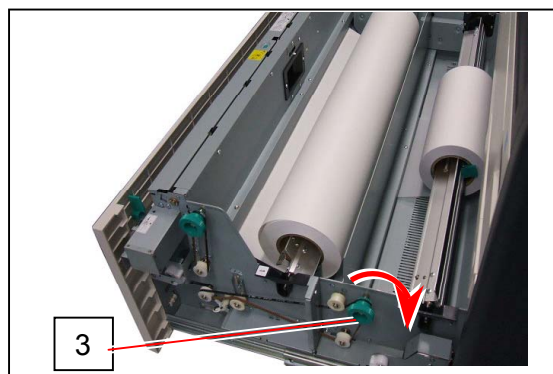


2. ロール紙の先端をガイド板 (1) の下から搬送ローラにあたるまで差し込み、搬送ノブ (2) を時計回りに回してロール紙を搬送ローラではさんでください。

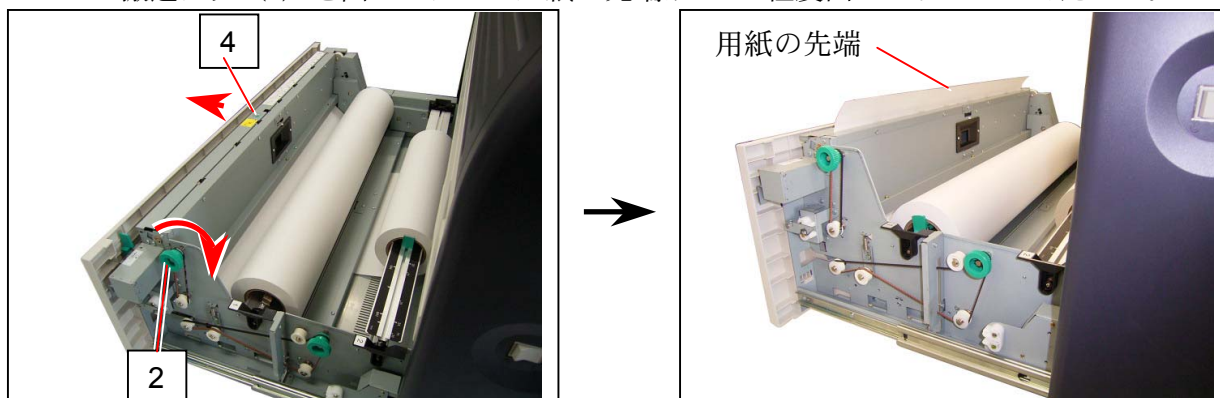


⚠ 注意

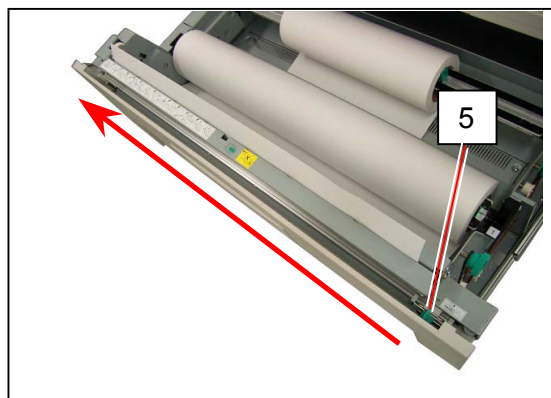
- (1) 用紙の先端が破れている、または折れている場合はカッターやハサミで切り取ってください。
- (2) 給紙デッキ 2 (Type A は標準) の場合は、後側の搬送ノブ (3) を回してください。



3. ロール紙の先端を搬送ローラではさんだら、ペーパーガイドの緑色のくぼみ部分 (4) を押さえながら矢印方向へ引いてペーパーガイドを開けてください。さらに搬送ノブ (2) を回して、ロール紙の先端が 10cm 程度出るようにしてください。



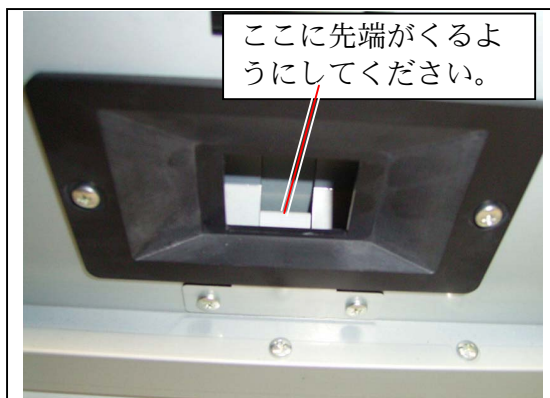
4. 緑色のカッターノブ (5) を右端から左端までスライドし、用紙の先端をカットしてください。カットした用紙の切れ端は取り除いてください。



⚠ 注意

カッターノブは完全に止まるまで端にスライドさせてください。途中で止めると紙づまりの原因となります。

5. ロール紙の先端が図の位置になるように少し巻き戻してください。



6. 給紙デッキ (2) を閉めてください

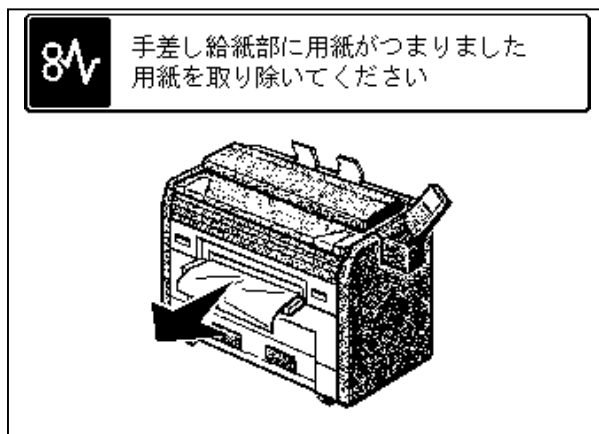


⚠ 注意

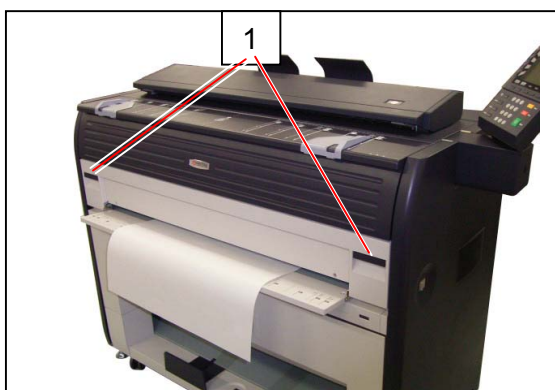
給紙デッキは正しい位置で確実にロックされるまで閉じてください。確実にロックされていないと、紙づまりの原因となります。

3. 1. 1. 2 「手差し給紙部に用紙が詰まりました 用紙を取り除いてください」

手差しトレイでカット紙が詰まった場合は「手差し給紙部に用紙が詰まりました」が表示されます。



1. エンジンユニット解除レバー (1) を引き上げ、エンジンユニットを開けてください。



2. つまっている用紙を手前に引き出して、取り除いてください。

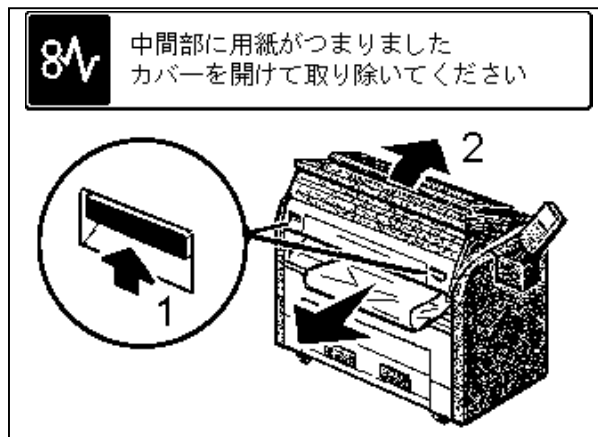


3. エンジンユニットを閉めてください。



3. 1. 1. 3 「中間部に用紙が詰まりました カバーを開けて取り除いてください」

本体内部で用紙が詰まった場合は「中間部に用紙が詰まりました」が表示されます。



1. エンジンユニット解除レバー (1) を引き上げ、エンジンユニットを開けてください。



2. つまっている用紙 (2) を取り除いてください。



3. エンジンユニットを閉めてください。

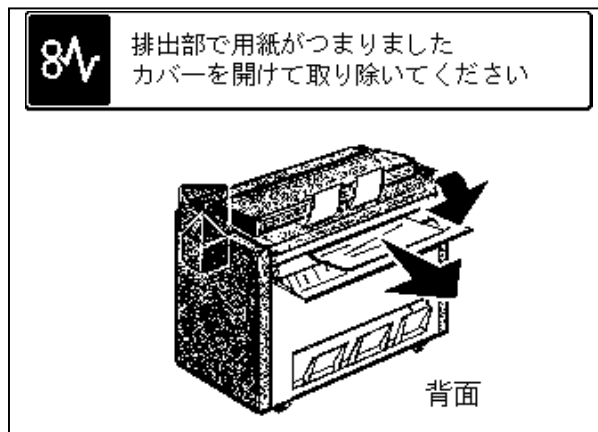


⚠ 注意

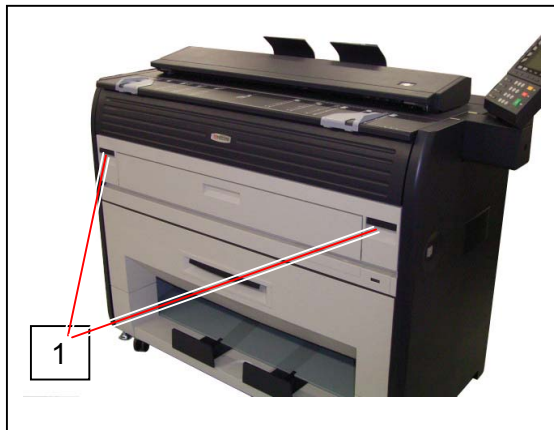
エンジンユニットが正しい位置で確実にロックされていることを確認してください。

3. 1. 1. 4 「排出部で用紙が詰まりました カバーを開けて取り除いてください」

排出部で用紙が詰まった場合は「排出部で用紙が詰まりました」が表示されます。



1. エンジンユニット解除レバー (1) を引き上げ、エンジンユニットを開けてください。

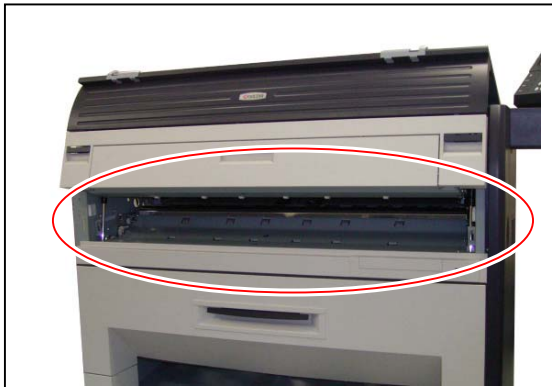


2. つまっている用紙の位置を確認してください。

右図のように、つまっている用紙が容易に引き出せる場合は、手順3へ進んでください。



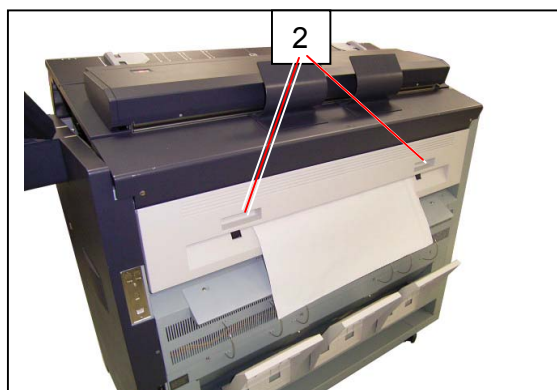
下図のように、つまっている用紙が容易に引き出せない場合は、手順4へ進んでください。



3. つまっている用紙を手前に引き出して、取り除いてください。



4. 本体前側から用紙を引き出せない場合は、本体後側にある 2 箇所のハンドル (2) を持って排出カバー (3) を開けてください。



5. 本体後側からつまっている用紙を取り除いてください。



⚠ 警告

排出カバー内部は高温になっています。火傷のおそれがありますので、触れないようにしてください。

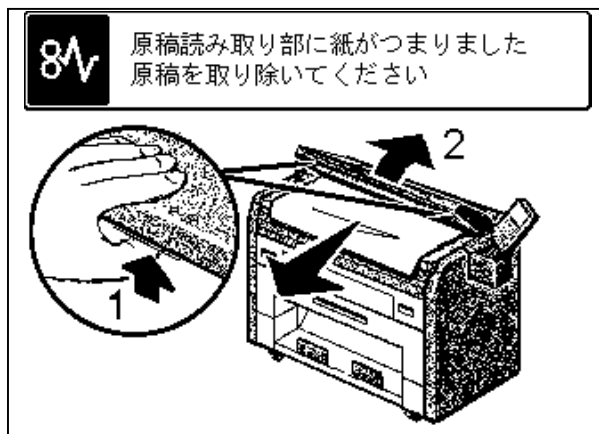
印刷された用紙は高温になっています。つまっている用紙を取り除くときは、取り扱いに注意してください。

⚠ 注意

つまっている用紙を取り除いた後の定着ローラには、トナーが付着している場合があります。付着したトナーで次の印刷が汚れる場合があります。

3. 1. 1. 5 「原稿読み取り部に紙が詰まりました 原稿を取り除いてください」

原稿読み取り部で原稿が詰まった場合は「原稿読み取り部に紙が詰まりました」が表示されます。



1. レバー (1) を引き上げてスキャナーカバーを開け、つまっている原稿を取り除いてください。



2. スキャナーカバーを更に後方に開け、ロックを解除してから閉めてください。



3. 1. 2 カバーが開いているとき

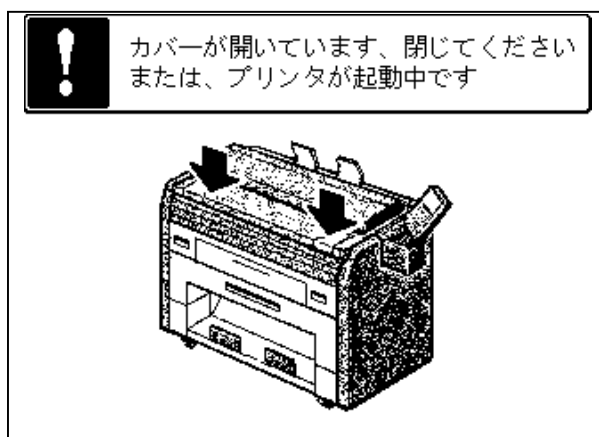
カバーまたはユニットが開いている場合は、次のメッセージが表示されます。

- ・ 「カバーが開いています、閉じてください または、プリンタが起動中です」
- ・ 「給紙デッキが開いています 閉じてください」
- ・ 「スキャナーカバーを閉じてください カバーを少し上に持ち上げてロックを解除してから閉じます」

3. 1. 2. 1 「カバーが開いています、閉じてください または、プリンタが起動中です」

エンジンユニットまたはトナーハッチ（原稿テーブル）が開いている場合は「カバーが開いています」が表示されます。

このメッセージは本体の起動中にも表示されます。



1. エンジンユニットが確実に閉まっていることを確認してください。開いている場合は、確実に閉めてください。

⚠ 注意

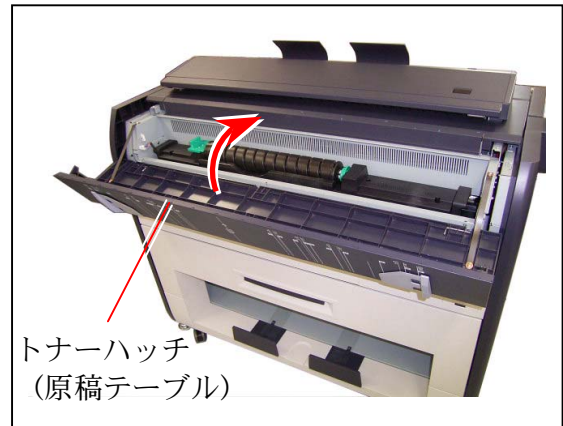
エンジンユニットは閉まっているように見えても少し開いていることがあります。確実に閉めてください。



2. トナーハッチ（原稿テーブル）が確実に閉まっていることを確認してください。
開いている場合は、確実に閉めてください。

! 注意

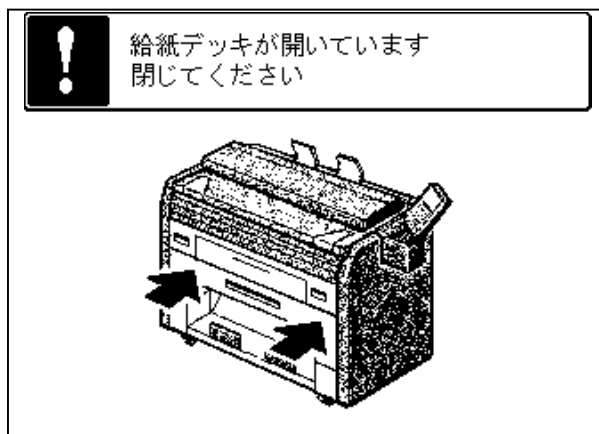
トナーハッチ（原稿テーブル）は閉まっているように見えても少し開いていることがあります。確実に閉めてください。



3. エンジンユニットおよびトナーハッチ（原稿テーブル）が閉まっているときにメッセージが表示される場合は、本機がウォームアップ中です。
メッセージが表示されなくなるまでしばらくお待ちください。

3. 1. 2. 2 「給紙デッキが開いています 閉じてください」

給紙デッキが開いている場合は「給紙デッキが開いています」が表示されます。



1. 給紙デッキが確実に閉まっていることを確認してください。
開いている場合は、確実に閉めてください。
給紙デッキを閉めたとき、「拡張機能設定 1」画面が表示されます。

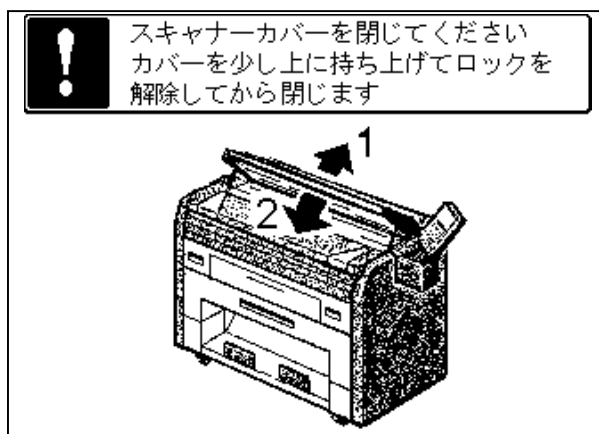


⚠ 注意

給紙デッキは閉まっているように見えても少し開いていることがあります。確実に閉めてください。

3. 1. 2. 3 「スキャナーカバーを閉じてください カバーを少し上に持ち上げてロックを解除してから閉じます」

原稿読み取り部が開いている場合は「スキャナーカバーを閉じてください」が表示されます。



1. スキャナーカバーが確実に閉まっていることを確認してください。
開いている場合は、確実に閉めてください。



⚠ 注意

スキャナーカバーは閉まっているように見えても少し開いていることがあります。確実に閉めてください。

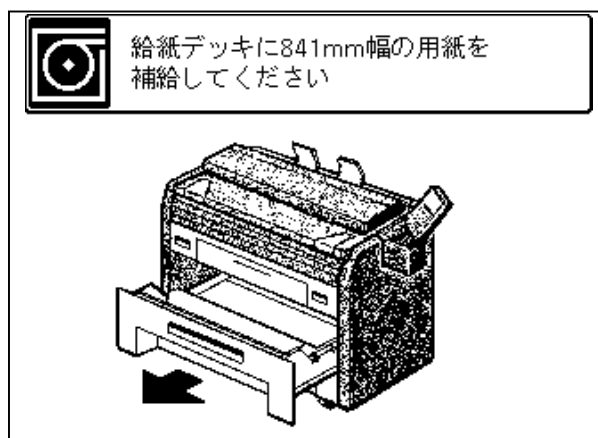
3. 1. 3 その他のメッセージ

状況により、次のメッセージが表示される場合があります。

- ・ 「給紙デッキに XX 幅の用紙を補給してください」
- ・ 「手差しトレイを開き、用紙を入れてください」
- ・ 「トナーが無くなりました 新しいカートリッジに交換してください」
- ・ 「ウォームスリープモード中です」
- ・ 「節電モード中です」

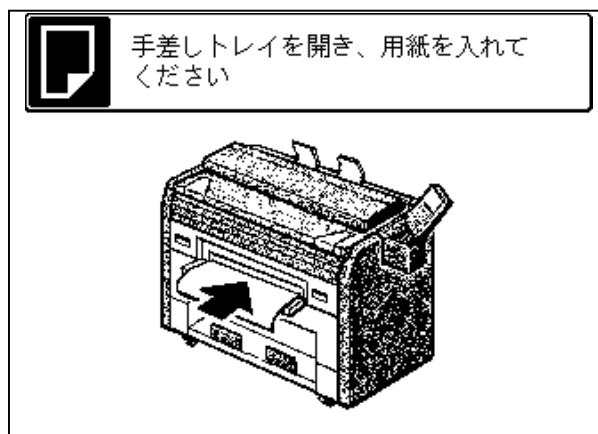
3. 1. 3. 1 「給紙デッキに XX 幅の用紙を補給してください」

「給紙デッキに XX 幅の用紙を補給してください」が表示された場合は、給紙デッキに指定の幅のロール紙をセットしてください。（「XX」は用紙幅を示します）
ロール紙のセット方法については、2-4 ページの 2. 3 ロール紙の交換を参照してください。



3. 1. 3. 2 「手差しトレイを開き、用紙を入れてください」

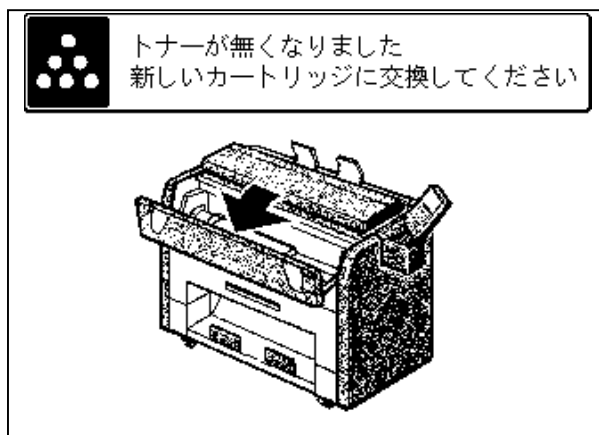
「手差しトレイを開き、用紙を入れてください」が表示された場合は、手差しトレイにカット紙をセットしてください。
カット紙のセット方法については、2-13 ページの 2. 5 手差しトレイへのカット紙のセットを参照してください。



3. 1. 3. 3 「トナーが無くなりました 新しいカートリッジに交換してください」

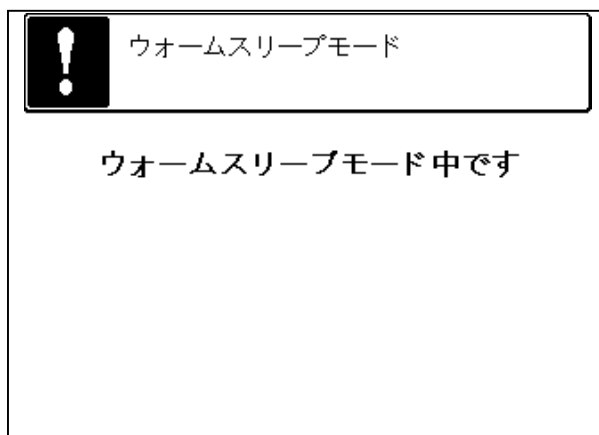
「トナーが無くなりました」が表示された場合は、新しいトナーカートリッジに交換してください。

トナーカートリッジの交換方法については、2-9 ページの 2.4 トナーカートリッジの交換を参照してください。



3. 1. 3. 4 「ウォームスリープモード中です」

「ウォームスリープモード中です」が表示された場合は、本機はウォームスリープモードの状態です。

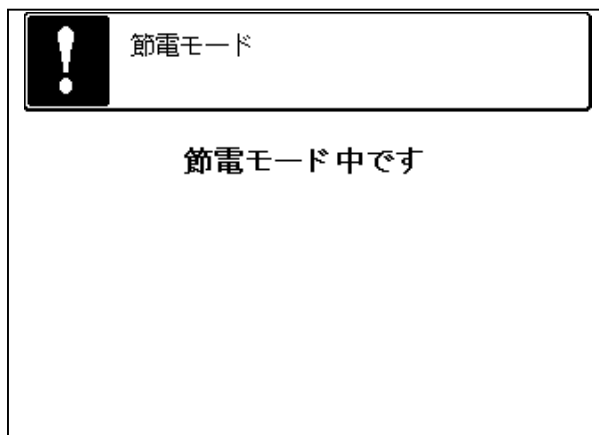


参 考

- (1) 本機は一定時間操作がないと自動的にウォームスリープモードに移行します。
消費電力をおさえるため、定着ユニットの温度が低下します。
- (2) 次のいずれかの操作により、ウォームスリープモードから復帰します。
 - ネットワーク経由による印刷データを受信したとき
 - 原稿読み取り部へ原稿を挿入したとき
 - 操作パネル上のキーを押したとき定着ユニットの温度が上昇する必要があるため、ウォームスリープモードから復帰するには数分かかります。
(印刷は本機が復帰してから開始します)

3. 1. 3. 5 「節電モード中です」

「節電モード中です」が表示された場合は、本機は節電モードの状態です。



参 考

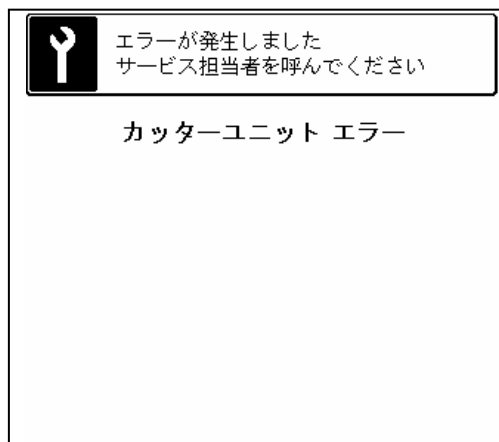
- (1) 本機は一定時間操作がないと自動的に節電モードに移行します。
消費電力をおさえるため、本機は定着ユニットの温度制御を中止します。（節電モードはウォームスリープモードよりもさらに消費電力が少なくなります）
 - (2) 次のいずれかの操作により、節電モードから復帰します。
 - ネットワーク経由による印刷データを受信したとき
 - 原稿読み取り部へ原稿を挿入したとき
 - 操作パネル上のキーを押したとき定着ユニットの温度が上昇する必要があるため、節電モードから復帰するには数分かかります。
（印刷は本機が復帰してから開始します）
- ！** メインスイッチを ON にしたとき、また節電モードから復帰するときは、画面が表示されるまで1分間かかります。
この間にメインスイッチを OFF にしないでください。

3.2 サービスを必要とするエラーメッセージ

「エラーが発生しました サービス担当者をお呼びください」が表示された場合は、サービス担当者またはサービス実施店にご連絡ください。

この場合は、次のいずれかのメッセージも合わせて表示されます。

カウンター エラー
カッターユニット エラー
現像器モーター エラー
FPGA エラー
定着器低温異常
定着器モーター エラー
定着器高温異常
高圧帯電器 エラー
ライセンスキー エラー
メインモーター エラー



上記のエラーメッセージが表示された場合は

1. メインスイッチを OFF にし、約 1 分後、メインスイッチを ON にしてください
2. 同じエラーメッセージが表示される場合は、メインスイッチを OFF にし、約 1 分後に電源プラグを抜いて、サービス担当者またはサービス実施店にご連絡ください。

4 章

日常のメンテナンス

	ページ
4. 1 清掃	4- 2
4. 1. 1 原稿読み取り部	4- 2
4. 1. 2 印刷部	4- 4
4. 1. 3 操作パネル	4- 6

4. 1 清掃

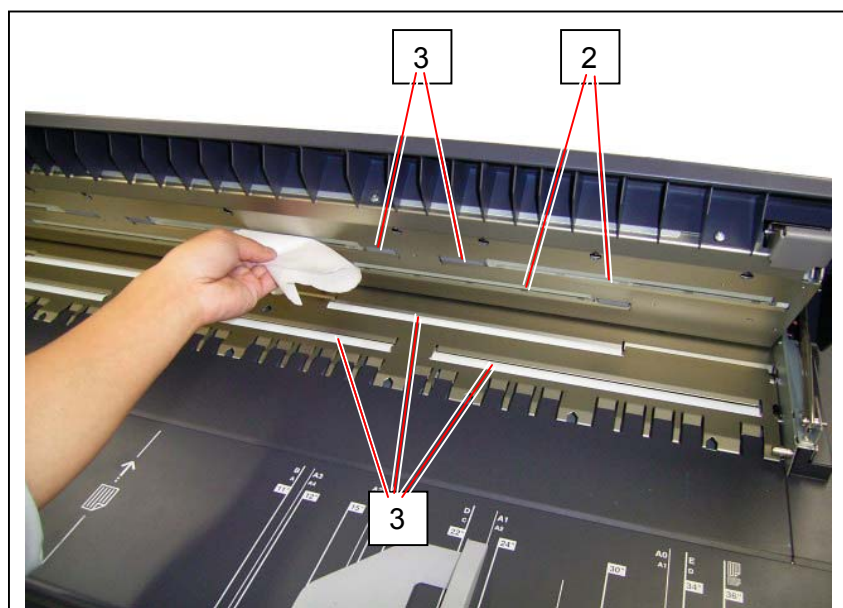
4. 1. 1 原稿読み取り部

最適なスキャン／コピー品質を保つために、定期的に（1週間に1回）スキャナーガラス、原稿給紙ローラ、ガイド板を清掃してください。

1. 電源が OFF であることを確認してください。
2. レバー(1)を引き上げ、原稿読み取り部を開けてください。



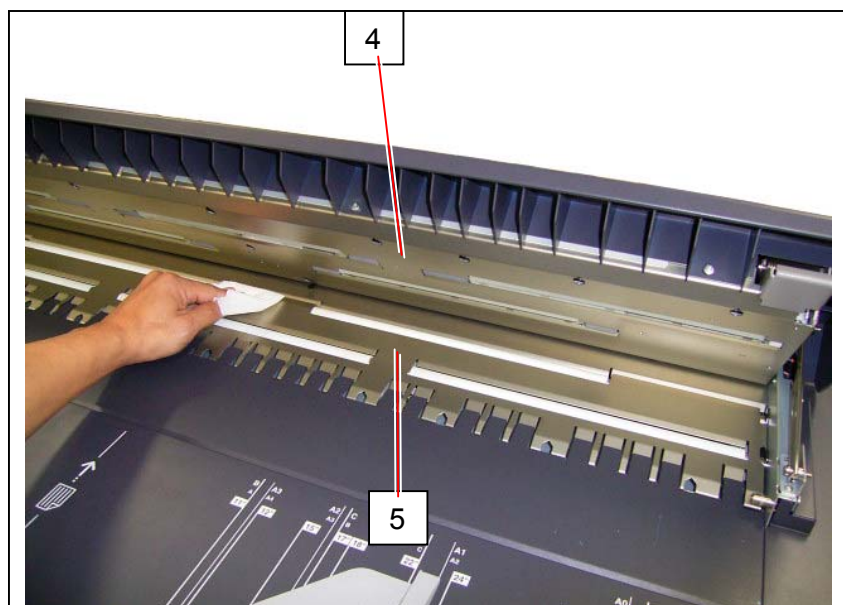
3. スキャナーガラス (2) および原稿給紙ローラ (3) を乾いた柔らかい布で拭いてください。



⚠ 注意

水、中性洗剤、有機溶剤、ガラスクリーナー、静電気防止スプレーは使用しないでください。

4. 上下のガイド板 (4) (5) を乾いた柔らかい布で拭いてください。



5. スキャナーカバーを更に後方に開け、ロックを解除してから閉めてください。



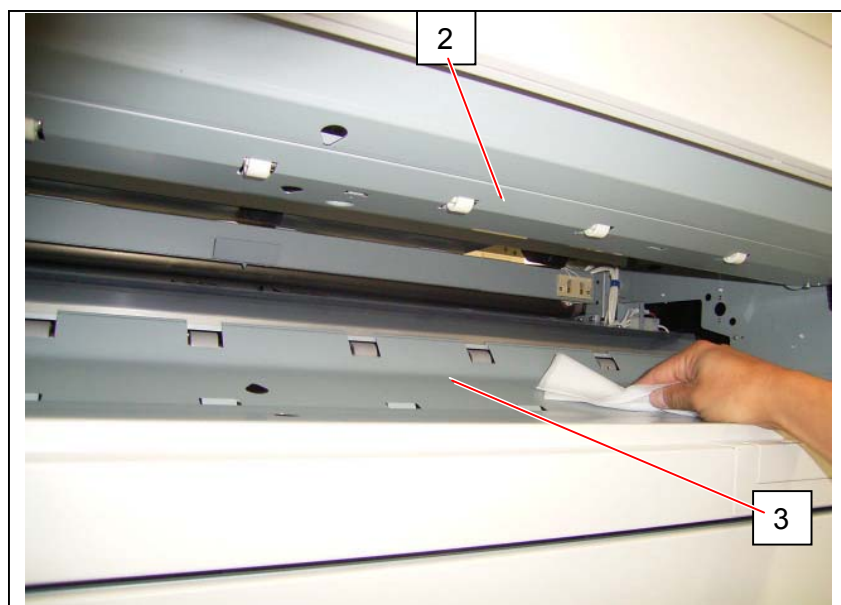
4. 1. 2 印刷部

最適な印刷品質を保つために、定期的に（1週間に1回）ガイドフィルムおよびガイド板を清掃してください。

1. 電源が OFF であることを確認してください。
2. エンジンユニット解除レバー（1）を引き上げ、エンジンユニットを開けてください。

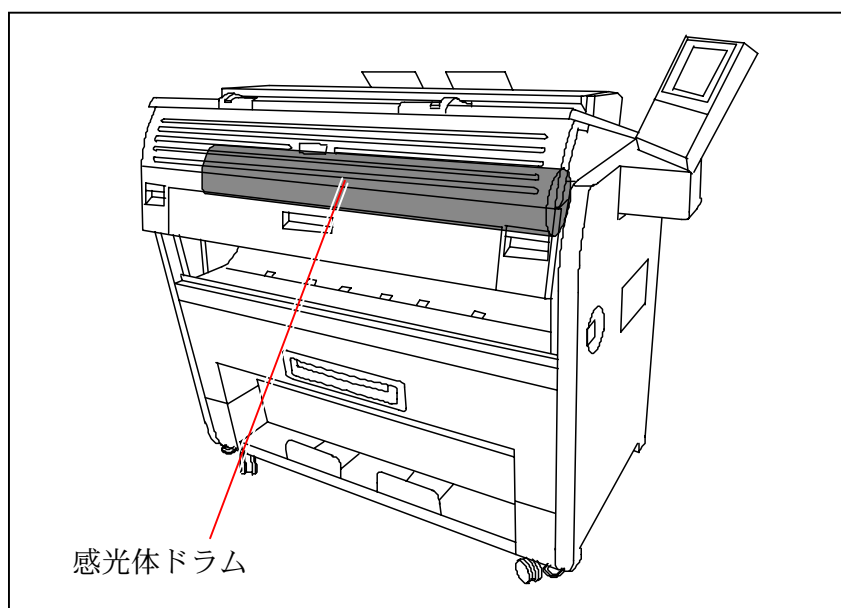


3. ガイドフィルム（2）およびガイド板（3）を乾いた柔らかい布で拭き、トナーや紙粉を取り除いてください。



⚠ 注意

- (1) ガイドフィルムの真上に感光体ドラム（大きな緑の円柱）が設置されています。
ドラムが損傷した場合は、交換する必要がありますので、清掃の際は次の点に注意してください。
 - a.) ドラムに触れないでください。
ドラムに指紋や油分がつくと印刷品質低下の原因になります。
 - b.) 時計や指輪など金属類を外してください。
金属類でドラム表面に傷を付けた場合は、ドラムの交換が必要になります。
 - c.) ドラムは光にとっても敏感です。エンジンユニットを 10 分以上開けないでください。（ドラムに直射日光を当てないでください）



- (2) 水、有機溶剤、およびアルコールは使用しないでください。

4. エンジンユニットを閉めてください。



4. 1. 3 操作パネル

定期的に（1 週間に 1 回）操作パネルを清掃してください。

1. 電源が OFF であることを確認してください。
2. 乾いた布で操作パネルを清掃してください。



! 注意

水、アルコール、有機溶剤、およびガラスクリーナーは使用しないでください。

**QUALITY
CERTIFICATE**

この製品はすべての品
質管理および最終検査
に合格しました。

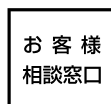
お客様相談窓口のご案内

京セラミタ製品についてのお問い合わせは、下記のナビダイヤルへご連絡ください。市内通話料金でご利用いただけます。

京セラ ミタ株式会社 京セラ ミタジャパン株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-9-15

<http://www.kyoceramita.co.jp>



0570-046562

受付時間
● 9:00～17:00
(但し、土曜日、日曜日及び祝日は除く)

市内通話料金でご利用いただけます。